

ロータリーに活力を— あなたの活力を

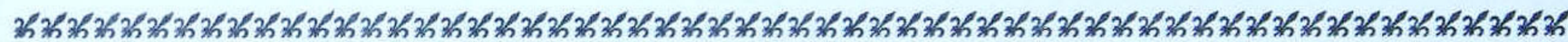
PUT LIFE INTO ROTARY- YOUR LIFE

1988～89年度 国際ロータリーのテーマ

- 国際ロータリー会長 ロイス・アビー
- 第256地区ガバナー 樫内悌三郎
- 会長— 杉野 奎司
- 副会長— 小林 英雄
- 幹事— 長谷川有美
- SAA— 榎本 勝、近藤 雄介
- 例会日— 毎週水曜日 12:30～
- 例会場— 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 34-3311
- 事務局— 三条市旭町2-5-10 TEL 35-3477 田中久美子

(FAXも同番号 午後3時以後はFAXに切り替ります)

- クラブ会報委員— 伊藤 廣一、大谷 幸平、五十嵐昭一、松谷 昊吉



出席会員数	会員 67名中 47名
先々週出席率	95.45% (前年同期 95.16%)
今日のお花	ピンククジャク、ダリヤ
ヴィジター	三条北より 中條耕二君 三条南より 五十嵐 功君
先週のメイクアップ	9/21 柏崎へ 大谷幸平君 9/22 西部IGF(高田)へ 堀川政雄君 9/22 燕へ 吉井俊介君、野水文治君 9/26 東京上野へ 斎藤権八君 9/26 三条南へ 松谷昊吉君、五十嵐晋三君、渡辺惣吉君、 五十嵐総一君、斎藤弘文君、渡辺喜彦君 加藤紋次郎君 9/27 三条北へ 野村竹三郎君、岩井数央君
会長挨拶	杉野会長

お客様ようこそお出で下さいました。気楽にお願い申し上げます。

新入会員の清水さんが今日からお見えになっております。あとで御紹介申し上げ御挨拶を頂きます。

今月、9月を長月（ながつき）と言います。夜長月をちぢめたものだそうです。

そして読書の秋、スポーツの秋、実りの秋、食欲の秋、行楽の秋と冠せて色々と言いますが、夏の疲労が貯った後で季節も秋霖（リン）と言いまして梅雨の裏返し、多湿状態ですから、体調を整えるには難しい季節の様です。「睡眠の秋」が一番よいとも言われます。

ところがストレス社会で眠るのも容易ではありません。不眠症も増えてるそうです。古くから羊を数える催眠法もありますが、脳の左半分は理性、論理を受け持っているそうです。右が感情、想像などを担当してまして、羊を数えると左が忙しくなり右が休んで不安を呼び起す想像がストップする。そこで眠ることになるそうです。それもあまり神経質になると旨くない様です。

睡眠は5時間が自然、7時間は習慣で、9時間は怠惰、11時間は罪悪だそうです。

幹事報告

長谷川幹事

- ・三条南RCより 第256地区東部IGF参加御礼状がとどいております。
- ・ガバナー事務所より ロータリー財団第912地区水害救援資金
ロータリー財団第243地区水害救援資金のお願い

※ナイジェリア（第912地区）スーダン（第243地区）の大洪水に対する救援寄付
この寄付はポールハリスフェロー、準フェローの認証に適用されます。

新入会員紹介

小林正義会員



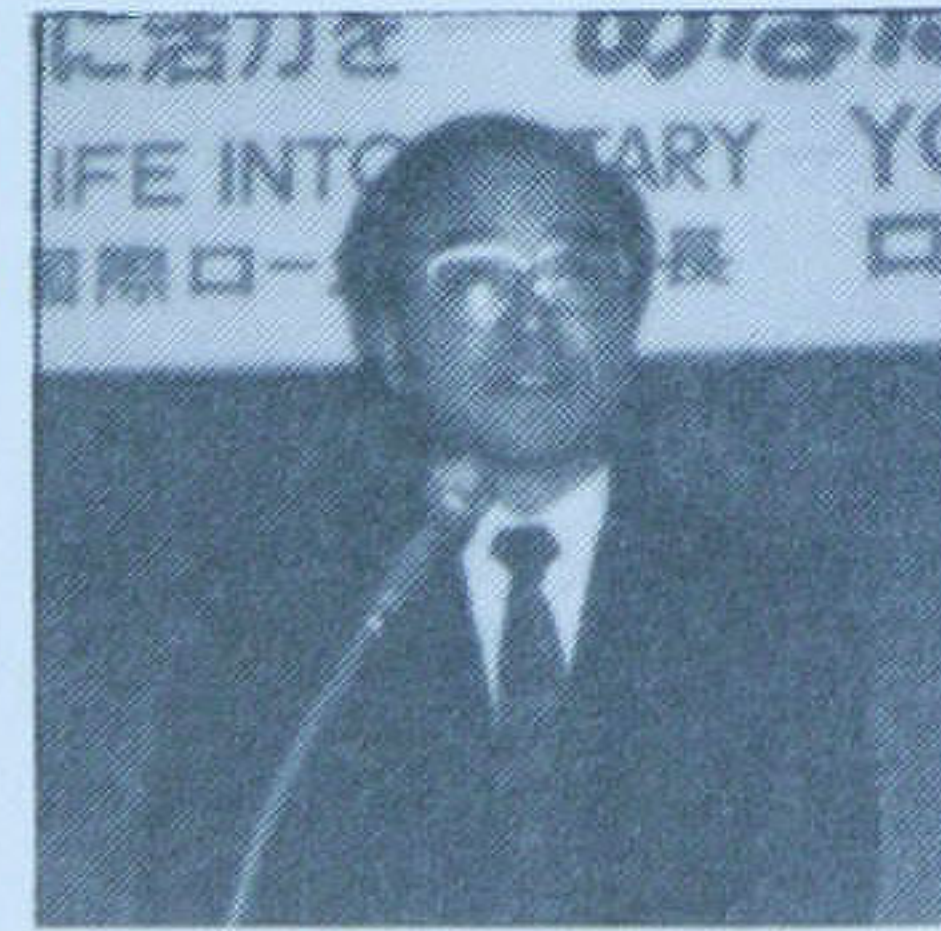
尚朝日設備 社長
昭和8年11月9日生
家族構成：
母、妻、子供一人
趣味：俳句

渋谷正一会員



渋谷スタジオ
昭和21年9月26日生
家族構成：
母、妻、一男一女
趣味：読書

清水良一会員



宅建取引
昭和13年8月14日生
家族構成：
父、母、妻、一男一女
趣味：旅行

10月のお祝い

会員誕生祝	10日	斎藤権八君	12日	古沢富雄君	18日	渡辺喜彦君
	23日	土田栄松君	26日	吉井俊介君		
夫人誕生祝	3日	五十嵐(晋)幸子さん	4日	広岡キクさん		
	19日	池田 律さん				
結婚記念	2日	石橋育於君	3日	五十嵐晋三君	5日	広岡豊作君
	10日	藤田紘一君	11日	山本福七君	12日	谷村憲一君
	23日	伊藤廣一君	24日	内山裕一君	25日	熊倉昌平君
100%出席者	19年	野村竹三郎君	19年	熊倉昌平君	16年	小林九満太君
	4年	平原信行君				

ニコニコボックス ¥10,000

石橋君 同級生の清水君の入会を歓迎しまして。
 渋谷(正)君 入会早々妻の誕生日(9/26)にケーキで祝って頂き感謝いたします。誕生日は忘れることにしていましたが、そうもいけなくなりました。
 鈴木君 ホームクラブ出席を3回も休んですみませんでした。
 藤田(紘)君 ポリオプラス記念テレホンカード申し込みありがとうございました。まだ期日大丈夫ですので申し込みお願い致します。
 斎藤(弘)君 オリンピックをテレビ観戦で楽しませていただいております。
 中條耕二君(三条北クラブ) 久しぶりのメイクアップです。日戸先生の卓話ですが、残念乍ら早退です。お許し下さい。
 五十嵐 功君(三条南クラブ) 本日初めてのメイクアップです。よろしくお願ひします。

卓話

日戸平太会員



ポリオプラスはポリオの他に、結核、ジフテリア、破傷風、百日咳、ハシカを含む。何故に、ポリオプラスであって、例えばハシカプラスではないのだろうか？ アメリカでは募金はすでに186%にも達している。Pに始まるポリオとプラスが単に語呂がいいからなのだろうか？
終戦の年に亡くなったルーズベルト大統領はポリオであった。



1916年のアメリカ大流行時には実に8,000人の死亡例と20,000人のマヒ患者を後に残している。この様なことが「ポリオ」を採用した大きな理由であろうか。

野口英世は世界的に有名な細菌学者であったが、ポリオの研究を手掛けている。彼は1900年に渡米しているが、当時、尚ウィルス学の研究、その技術は未開発であり、細菌以外にも、病原体一後のウィルスーがあるらしいと、ようやく、ぼんやりと見えて来た時代であった。彼は猿のポリオを研究しているが、ウィルス発見までには行かなかった。もう少し後で生まれていたら、この一流の学者はポリオ研究の一家をなしていたかも知れない。今日のポリオキャンペーンに日本人野口の名が聴かれたかも知れない。

その後野口は黄熱病の研究にたずさわることになるが、「勝利を得るか、しからずんば死」と云ってその流行地であるアフリカガーナにおもむく。しかし結局このウィルス病にかかり、最後に「わからない」と云って1928年52歳で死亡した。

彼の悲劇的な死を、細菌学者である自分の学説がウィルス学によって次第にくつがえされて行くのを感じ、アフリカへハラキリに行ったのだという人もいる。

今回のオリンピックは、ドーピングや、コーチのなぐり合いなどで騒がしいが、アフリカその他、発展途上国の選手の活躍の芽もようやく出始めた様だ。ポリオプラスキャンペーンが大成功を収め、それらの国々の子供達が何年後かのオリンピックに堂々と登場して来てほしいものである。

キーワード ボーダーレス・エコノミー

経済の無国境化の事。急激な円高による輸出の採算割れ、高い労働コスト、さらには輸入制限などを避け、ここ数年、大手から中小に至るまで日本企業はこぞって海外進出を始めている。しかしそれは、単に生産や販売の拠点を海外に移すだけの意味ではない。現地の社会に溶け込まなければ経営は破綻をきたすし、新たな摩擦を引き起こしかねない。自国の経営方法を押しつけるのではなく、日本的経営のメリットを維持しながら、現地の人達の生活感情や慣習も尊び、企業としての個性ある理念を貫かなければ、成長・発展は望めない。

そうしながら進出した国や地域だけのビジネスを考えるのではなく、地域ごとの役割分担、国際的分業をグローバルな見地から分析・検討すると云う世界戦略を立てなければならない。日本企業のこのような多国籍企業化は、地域諸国間の相互依存度を高めていき、無国境化を更にすすめるものである。

次週例会 10月5日 親睦例会 弥彦村「はにゅうの宿」

次々週例会 10月12日 卓話 高橋一夫会員
